



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和2年9月30日

1歳半で保育所に通う幼児は、むし歯のリスクが高いことを発見！

◆発表のポイント

- ・1歳半の幼児において、保育所へ通う幼児は、日中、母親の養育を受ける幼児と比べて、3歳になるまでにむし歯になるリスクが、1.55倍高いことが分かりました。
- ・日中、母親の養育を受ける幼児は、保育所へ通う幼児と比べて、1日の間食回数が少なく、毎日歯を磨く習慣を持つ幼児が多いことが分かりました。
- ・女性が社会進出する上で、保育所の利用は欠かせないものです。日中の過ごし方によって、むし歯のリスクを理解し、予防を行う必要性が示されました。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）の森田学教授と岡山大学病院予防歯科の横井彩医員らのグループは、1歳半の幼児において、保育所へ通う幼児は、日中、母親の養育を受ける幼児と比べて、3歳になるまでにむし歯になるリスクが、1.55倍であることを明らかにしました。今回の研究成果は7月21日、北欧の科学雑誌「*Acta Odontologica Scandinavica*」に掲載されました。

日中、母親の養育を受ける幼児は、保育所へ通う幼児と比べて、おやつの回数が少なかったり、毎日の歯磨きが習慣づけられていたり、むし歯になりにくい生活習慣を行っていることが分かりました。女性の社会進出のためにも、保育所の利用は欠かせないものです。1歳半の幼児が保育所へ通う場合は、むし歯を予防するような生活習慣を身につけられるよう、保育所と一緒に取組んでいくことが重要です。今後は、幼児のみならず、両親の就労状況が、子供の健康にどのような影響を与えるのか、幅広い年齢層において明らかにしていきます。

◆研究者からのひとこと

近年、出産後すぐに職場へ復帰するお母さんが増えています。働きながらの子育てはもちろん、子供のむし歯予防にも気を配ることは、とっても大変なことです。定期的に歯科医院を受診し、プロの手を借りることも効果的です。これからも働く女性を応援していきます。



横井医員

PRESS RELEASE

■発表内容

<現状>

これまでの日本では、日中、祖父母から養育を受けている幼児や、祖父母と同居している幼児は、むし歯のリスクが高く、保育所へ通う幼児はむし歯のリスクが低いことが報告されていました。しかし近年、祖父母と同居している幼児は減少し、女性の社会進出に伴い、日中、保育所で保育をうける幼児が増えています。幼児の保育環境が変化している中、保育所とむし歯との関係が変化しているのではないかと疑問を持ちました。

<研究成果の内容>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）の森田学教授と岡山大学病院予防歯科の横井彩医員らのグループは、1歳半の幼児において、保育所へ通う幼児は、日中、母親の養育を受ける幼児と比べて、3歳になるまでにむし歯になるリスクが、1.55倍であることを明らかにしました（下図）。

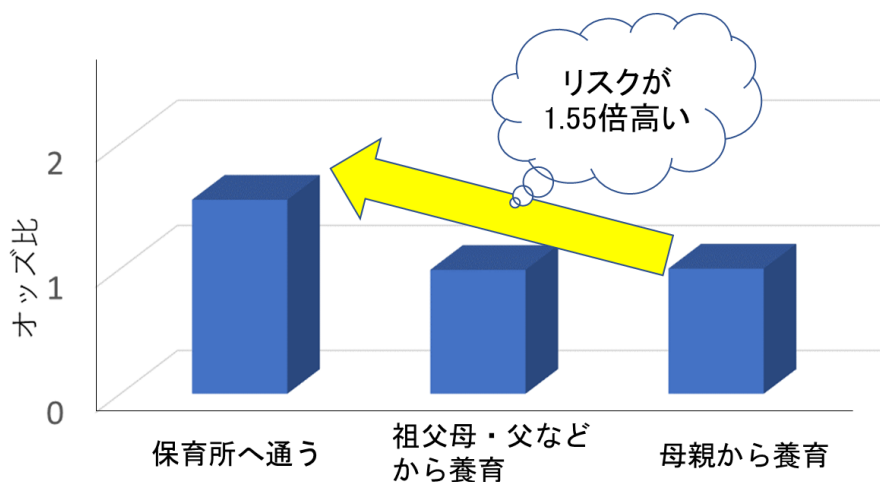


図. 日中の保育者の違いによる、むし歯発症のリスク

<社会的な意義>

日中、母親の養育を受ける幼児は、保育所へ通う幼児と比べて、一日の間食回数が3回未満である幼児や、毎日の歯磨き習慣が身についている幼児が多いことが原因として挙げられました。つまり、日中、母親の養育を受ける幼児は、むし歯になりにくい生活習慣を行っていたのです。女性の社会進出のためにも、保育所の利用は欠かせないものです。1歳半の幼児が保育所へ通う場合は、むし歯を予防するような生活習慣を身につけられるよう、保育所と一緒に取り組んでいくことが重要です。今後は、幼児のみならず、小学生や中学生、高校生において、両親の就労状況が、子供の健康にどのような影響を与えるのか明らかにしていきます。



PRESS RELEASE

■論文情報

論文名 : Association between the incidence of early childhood caries and attending childcare among toddlers in a rural area of Japan: a prospective cohort study.

掲載紙 : *Acta Odontologica Scandinavica*

著者 : Aya Yokoi, Noriko Takeuchi, Daisuke Ekuni, Manabu Morita

DOI : 10.1080/00016357.2020.1795249

URL : <https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/00016357.2020.1795249>

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（歯）

教授 森田 学

（電話番号）086-235-6712

（FAX）086-235-6714

（メール）mmorita@md.okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。